

北陸大学経済経営学部 成績評価に関するガイドライン

〔目的と原則〕

経済経営学部では、成績評価の妥当性・信頼性の向上（＝「厳格な成績評価」の実現）を図るために、組織的な成績評価の方針を定める。

成績評価の原則は、「絶対評価（到達度評価）」を基本的な考え方とし、学生が身につけるべき知識・能力・態度を到達目標として定め、その目標を学生がどの程度達成できたかで成績評価を行う。そのうえで、成績分布の標準化のために、相対評価を加味する。

〔到達目標と難易度〕

1. 授業のねらい(GIO)と到達目標(SBOs)は「受講学生が最低限身につける内容」を示すものであると捉え、授業の結果、受講学生の 80%が到達できると思われる目標を設定する。
2. 科目の難易度は、カリキュラム・マップのナンバリングに依拠する。
3. 「S評価」の割合が 15%～20%程度となるよう授業を設計する。

〔成績評価〕

1. 複数クラス開講科目については、成績登録前に担当教員間で協議を行い、教員間で成績評価に大幅な乖離が出ないように調整する。
2. 成績評価に関して学生から疑義があった場合には、担当教員が適切に説明する責任を負う。

〔成績評価基準〕

成績評価基準の詳細は以下のとおりとする。

成績評価	基準
S (90点～100点)	到達目標を十分に達成し、きわめて優秀な成果をおさめている
A (80点～89点)	到達目標を十分に達成している
B (70点～79点)	到達目標を達成している
C (60点～69点)	到達目標を最低限達成している
F (59点以下)	到達目標を達成していないので、再履修が必要である
F1 (試験欠席)	試験欠席による
F2 (受験停止)	欠席過多等による <u>*シラバスへの明示、初回授業でのアナウンス等必要</u>

〔点検評価〕

1. 毎学期作成する「授業の自己点検報告書」において、成績評価についての点検結果を含める。
2. 成績評価の極端な偏りや、学年 GPA 平均からの乖離等について、教務委員会で点検を行う。

この申し合わせは、2020年4月1日から適用する。

以上